

報道関係者 各位

令和7年10月10日

【照会先】

健康・生活衛生局

感染症対策部 感染症対策課

(担当・内線) 大塚和子 (2389)、小谷聡司 (2373)

(電話・代表) 03(5253)1111

第3回 薬剤耐性 (AMR) に関する記者勉強会のお知らせ

薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance: AMR) について十分な対策が実施されない場合、「2050年までに全世界で毎年1,000万人が、抗菌薬が効かない細菌 (薬剤耐性菌) による感染症で死亡し、がんによる死亡者数を上回る」と報告されています (オニールレポート)。また、世界保健機関の2023年11月の発表では、2019年の薬剤耐性菌感染症による死亡者数は、全世界で127万人に上ったと推計されております。弊省としては、AMRは社会が一丸となって向き合わねばならない喫緊の課題と認識しています。

つきましては、日々報道に携わる記者の方々に向けて、AMRについての理解を深め、広く情報を発信していただくことを目的とした勉強会を開催します。内容につきましては「目次」をご覧ください。多くの関係者の方々にご参加いただければ幸いです。

開催日時 : 令和7年10月27日(月) 15:00 ~ 16:30 (発表60分、質疑応答30分)

開催方法 : Zoomを使用したWEB会議形式で実施します。

【留意事項】

- ・ 勉強会に参加をご希望の方は **10月20日(月) 17:00 まで** に所属会社 (媒体名) および参加者氏名、連絡先 (電話番号) を明記の上、＜申込先＞までお申し込みください。

※お申し込みは報道関係者の方に限らせて頂きます。

- ・ WEB 会議の URL は勉強会開催時刻までにメールにてご連絡いたします。

＜申込先＞ 感染症対策課 広報担当 kansensho-koho@mhlw.go.jp

第 3 回 薬剤耐性 (AMR) に関する記者勉強会 目次

① イントロダクション及び厚生労働省の施策 (20 分)	
歯科診療における抗菌薬の処方現状と「抗微生物薬適正使用の手引き第四版（歯科編）」の策定に至るまでの経緯、および概要について説明します。	厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 感染症対策課 主査 山路正登
② AMR 臨床リファレンスセンターの活動 (20 分)	
AMR における疾病負荷の解説 近年言及されることの増えた「疾病負荷 (disease burden)」の概念について概説するとともに、薬剤耐性 (AMR) によって生じる疾病負荷がどの程度か、それをどう解釈すべきかについて解説します。	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター AMR 臨床リファレンスセンター 薬剤疫学室 室長 都築慎也 先生
③ 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センターの活動 (20 分)	
薬剤耐性真菌について解説 国内外における薬剤耐性真菌の問題点と、薬剤耐性研究センターが実施するカンジダ属菌の薬剤耐性発生動向調査および <i>Candida auris</i> 流行状況調査 (JARBS-Candida) について解説します。	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 第八室 室長 名木 稔 先生
④ 質疑応答 (最大 30 分)	

※ 「目次」記載の内容はあくまで予定であり、変更する場合があります。

※ 配信内容は録画を行い、期間限定かつ報道関係者限定で公開する予定です。

以上